

トピックス…②

平成24年度

酪農経営安定対策の概要

昨年12月24日に平成24年度一般会計予算案が閣議決定されたことをうけ、農林水産省牛乳乳製品課は同月26日、牛乳乳製品関係事業の概要を発表した。加工原料乳生産者補給金やチーズ事業などの酪農経営安定対策では前年並みの予算を確保し、チーズ事業に新メニューとして「生産者需給調整機能強化対策」を組み入れた。

酪農経営安定対策に前年度並み予算を確保

牛乳乳製品関係の主な酪農経営安定対策事業は、加工原料乳を対象とする生産者補給金の交付（加工原料乳生産者補給金、所要額221億3500万円）、チーズ向け生乳を対象とする助成金等の交付（チーズ向け生乳供給安定化対策事業、87億6700万円）、加工原料乳の価格が低落した場合の補てんへの助成（加工原料乳等生産者経営安定対策事業、基金規模60億円）の3点で、対象乳量の大幅な未達で予算縮減が懸念されたチーズ事業を始め、ほぼ概算要求通りに決定された。

そのほか、生乳需給の安定を図るため、中長期的な予測モデルを作成する活動を支援する「新たな生乳需給安定化手法の開発」事業、国際乳製品規格にわが国の意見を反映させるための活動を支援する「乳製品国際規格策定活動支援」事業が措置された。このうち、加工原料乳生産者補給金は概算の所要額で、予算上は平成23年度の補給金単価と限度数量から算出されており、24年度の補給金単価と限度数量は例年同様、2～3月に「食料・農業・農村政策審議会畜産部会」を開催して決定される。

酪農経営安定対策事業の内容

(単位:百万円)

	平成24年度	平成23年度
加工原料乳生産者補給金 [所要額]	22,135	22,135
チーズ向け生乳供給安定 対策事業	8,767	8,768
加工原料乳等生産者経営安 定対策事業[基金規模]	6,000	6,000
加工原料乳等生産者経営安 定対策事業[推進事務費]	13	17
新たな生乳需給安定化 手法の開発	12	18
乳製品国際規格策定活動 支援	16	23

チーズ事業に新たな生乳需給調整対策を導入

チーズ向け生乳供給安定化対策事業では、チーズ向け生乳を対象にチーズ生産と酪農経営の安定が図られるよう助成金を交付する。これに加え、生乳需給が短期間で変動する状況の中で、国産乳製品の安定供給に対するユーザーの強い要望にも応えるため、指定団体自らが乳製品を製造し適時に放出する取組や、不需要期に乳製品需要を創出する取組を支援するため、製造費の2分の1（生乳ベースで最大6万トン）を補助する「生産者需給調整機能強化対策」を新設した。

従来から、加工原料乳向けとチーズ向けは生乳需給調整のための基幹の用途であり、両用途に仕向けられる生乳に一体的対策を講じることは、指定団体を取り組む生乳需給調整対策を補完するものであると期待される。したがって、同対策はチーズ向け生乳供給安定化対策事業の予算内で行うものであり、生乳の需給状況に応じて、チーズ向け生乳の数量枠の一部を削ることによってバターなど乳製品を製造することも、チーズ向け生乳に全予算を使うことも可能となっている。

加工原料乳等生産者経営安定対策事業では、加工原料乳向け生乳ばかりではなく、チーズ向け生乳の価格も基準価格を下回った場合、生産者に補てん金（低落分の8割）を交付するための積立金（80億円）の一部を助成する。

この事業の背景には、加工原料乳生産地域における生乳の再生産の確保と全国の酪農経営の安定を図るため、加工原料乳生産者補給金を交付することとしているが、価格の低いチーズ向け生乳の仕向け量の増加に対応するための支援が必要であり、併せて、自由化品目であるチーズは国際競争にさらされており、国際市況の乱高下に対するセーフティネットとして、加工原料乳とは別にチーズ向け生乳に対しても、取引価格が低下した場合の経営への影響を緩和するための補てんを措置することが必要であるという政策課題がある。